

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校
校長室便り No.5 H30.11.28



わくわく発表会へのご参観、ありがとうございました！

11月10日(土)に実施した「わくわく発表会」(学校公開には、たくさんの保護者・地域の方のご来場をいただき、本当にありがとうございました。

また、アンケートへのご協力も重ねて御礼申し上げます。

いただいたアンケートのご感想、ご意見をご紹介します。

(内容はそのままに、表現は簡潔にさせていただきました)

【よかったところ】

- 1年生が大きなお兄さんお姉さんに一生懸命説明していたのが印象的。
- 発表では、たくさん練習したのだらうと分かるくらいセリフを覚えていた。内容も勉強になった。
- 半分が発表・半分が聞きに行く・・・面白い企画。他学年との交流ができてよい。続けてほしい。
- 自分たちの小学生のころと比べて学校、先生方が様々な企画をしてくれ頭が下がる。
- 子供たちが主体的に活動していた。成長の過程がみられてよかった。
- 低学年でも、人に教えるのはいい経験になった。
- 学校全体もよい雰囲気でも気持ちよく見学できた。
- 1年生は体験型だったので、とても楽しかった。(他の学年は見るができなかった)
- 何日も前から子供に「自分たちのブースに来て」といわれ、楽しみにしていた。
- 学年を超えて、また知っている大人以外の大人との交流はいい学びの機会。
- 協力して準備していたことがよく分かった。分担もよく、お客さんの呼び込みも積極的だった。
- 驚くほどにきちんと調べ、表にまとめクイズまで・・・きちんと発表でき成長を感じた。次が楽しみ。
- ルールが分からない園児にも楽しめるよう教えてくれありがたかった。優しい子が多く嬉しい。
- 大人相手にしっかり伝えている姿が立派。
- 高学年になるほどより詳細な展示や内容が見られ、成長の素晴らしさを実感。
- 片付けの様子を見ている子供たちが自分たちで作ら上げ、楽しんだことが分かり、嬉しかった。
- 各ブースの工夫が楽しい。伝統あるものを子供と一緒に楽しめた。
- オブジェ、クイズ、微笑ましい。
- 自分たちに与えられたテーマについてきちんと発表でき、頼もしかった。協調性もあった。指導に当たってくださった先生方に感謝。
- 大人になってからプレゼンなどで役に立ちそう。よい取り組み。
- 七小の文化祭ですね！当日子供たちのわくわくした表情が目にとまった。楽しい時間をありがとうございました。
- 一人一人よく調べていた。自分で考える力が育っていると感じた。
- 人前で話すことも抵抗なくできるようになり、このような機会に感謝。
- どの学年の子供たちも自分たちの発表を「見てほしい！聞いてほしい！」という積極的な姿勢で臨んでいるのが素晴らしい。
- 日程を変更したので、インフルエンザの影響もなくよかった。挨拶も大きな声でできていて日ごろの指導のおかげと感じた。来年も楽しみ。
- 短時間で仕上げたと聞いたが、ここまで出来るのかと、驚いた。
- 子供の成長を確認できる良い機会。続けてほしい。
- 一生懸命調べグループで発表することに成長を感じた。説明や資料を通じて大人も知らなかったことを学べた。
- 何グループも同じ内容の発表ではあったが、各グループの工夫が楽しかった。
- 6年生はさすが発表の仕方も工夫されていて分かりやすかった。
- 防災グッズを作るコーナーでは、参加者が作れているか見て回ったり、低学年の子供にはそばに行って教えたりしていてよかった。写真や絵がまとめに使われ、良くまとまっていた。

裏面もあります

【ご意見等】

- 独自の工夫があるものが心に残る。今後も子供たちの独創的なアイデアをたくさん取り入れて発表に生かしていくと更に意義深いと思う。
- 照れもあるが、もう少しはきはきと話してもよいかと・・・
- 1時間の係は1年生には長いのか、途中で飽きてしまう姿がみられた。(頑張っていたが)
- 高学年の展示は、低学年には少し難しかった。入りにくかった。
- 子供は絵を書いたりするのに時間がかかり、あまり回れなかったようだ。
- 毎年同じような発表なので先生が内容を決めているのかと思う。子供たちが発表したいものを発表させるともっとわくわくするものになるのでは。
- プログラムをもっと早くほしかった。当日授業があるのか、前半後半とはどういうことか分かりにくかった。
- 児童の発表を聞いていた他学年の先生が児童に質問して、答えられなかったとき、威圧的な発言があり悲しかった。
- 自分の子供のところが気になり、高学年の発表は見に行く時間が無くなってしまった。
- 上の階、特に4階は、頑張って調べたであろう発表に参加者が少なく気の毒だった。3階までの教室使用にしたら？
- 全体を見たかったが、下の子が1、3年の発表を楽しみすぎ、他学年の発表にたどり着けなかった。
- 低学年は体験できるスペースがあり人が多かった。高学年にも体験スペースがあればもっと人が来るのでは。
- うまく話せず泣いてしまった子供に対し、担任の先生が声をかけてあげなかったのが残念だった。一緒に原稿を読んであげたら。
- 見学に来る保護者の方が少なく感じた。子供ももっと来てほしかった、と言っていた。
- プレゼン開始の際に、「始めます！」などの声掛けがあつたらどうか。

~~~~\*\*\*~~~~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~\*\*~

まず、教員の子供たちへの指導についてのご意見、ありがとうございます。職員会議で、教職員に改めて子供の心に寄り添った指導をするように伝えました。

全体的には子供たちの成長の場としてよい企画だということ、内容も充実していたということ等のご感想をたくさんいただき、教職員の励みになりました。ありがとうございます。

課題として一番多くの声をいただいたのは、上級生まで見に行く時間がない、せっかく時間をかけて作った資料なのに、参観者が少なくかわいそう、ということでした。例年いただくお声であり、教職員もこの点についてはどうしたものか、と思っていたとのこと。一つの方策として、開催日を分け、学校公開日の中で2~3回に分け発表学年を決め、実施していくということが考えられます。これにより、保護者の方もお子さん以外の学年の発表も見に行きやすくなります。半面、全校で取り組む「お祭りの感覚」は薄まってしまうことが予想されます。これから来年度の教育課程(授業時数、様々な行事等の日にち・内容などを含めた来年度の学校経営の予定)を編成していきます。教職員一同でよく話し合い、「子供のためにはどのやり方が一番ねらいとする力をつけていくことができるか」ということを主眼にし、実施方法を定めていきます。今後とも本校の教育にご理解、ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## お知らせ・お願い

- ・通学路一時変更に伴う見守り、どうもありがとうございました。予定より早く通行できるようになりほっとしております。たまたま昨日、大山道で自転車と自動車の接触事故があり、やはり大山道を通学路にするのは危険だと認識を新たにしました。来年の本工事に向け、子供の安全(来年は熱中症への配慮も必要になります)を第一にその際の通学路を再検討していきますので、ご協力をお願いいたします。
- ・ここ数日は暖かいのですが、やがて冬は確実に訪れます。ポケットに手を入れて歩く子、フードをすっぽりかぶり、左右からの自動車・自転車に気が付きにくくなる子が増えていくことが心配です。学校でも指導しますが、ご家庭でも必要に応じ手袋、帽子などのご用意をよろしく願いいたします。